



当社の社名「Delta-Fly」は
「Dragonfly（とんぼ）」に由来しています。

決算補足資料（2025年3月期 第1四半期）

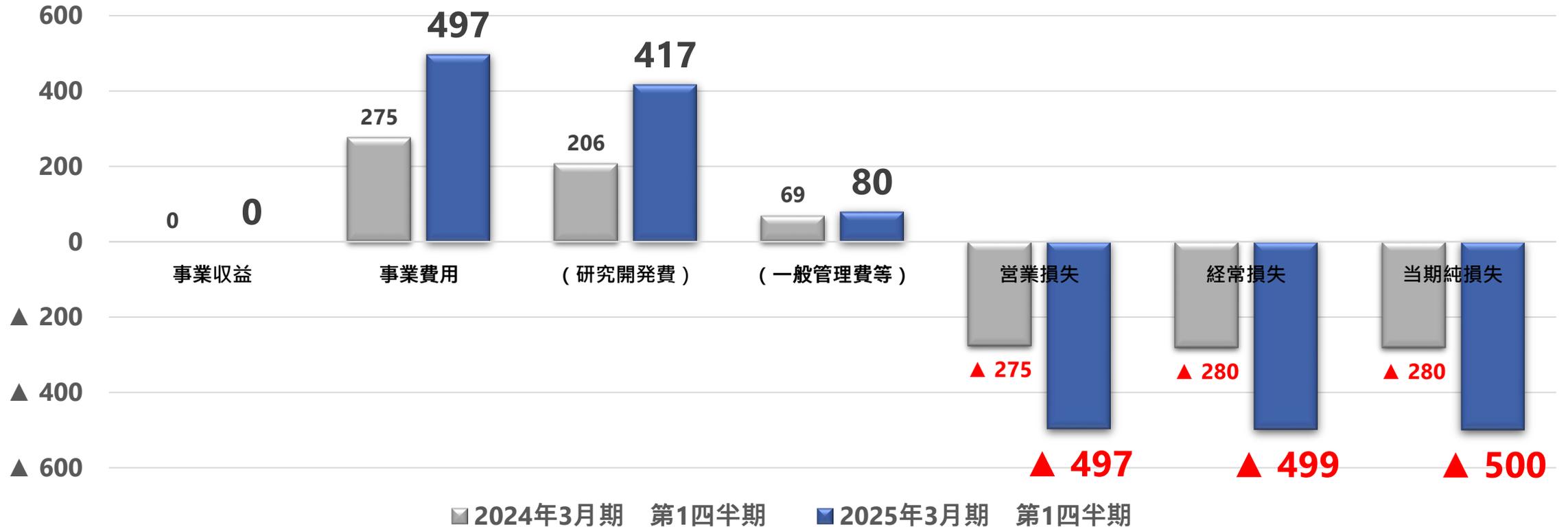
2024年8月9日

Delta-Fly Pharma株式会社
(東証グロース:4598)

2025年3月期 第1四半期決算と通期予想

損益計算書

(単位：百万円)



【事業収益】

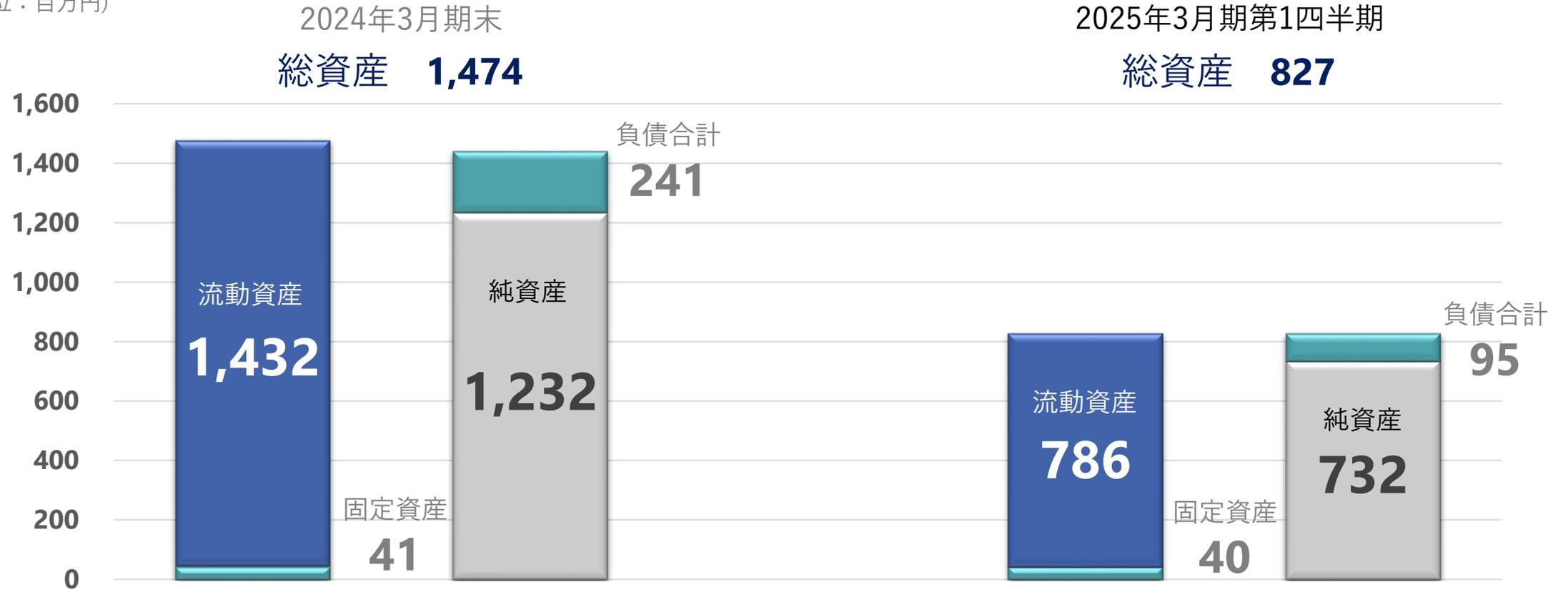
当第1四半期累計期間におけるマイルストーン収入等はなく、事業収益はありませんでした(前年同四半期比-%)。

【事業費用】

開発パイプラインの臨床試験における医療機関並びに症例数の増加、次試験に向けた治験薬となる原薬や製剤の製造などを進めたことなどに伴い、497百万円(前年同四半期比80.6%増)となりました。

貸借対照表

(単位：百万円)



【資産】

当第1四半期会計期間末における資産合計は827百万円となり、前事業年度末と比較して646百万円減少しました。これは主として、現金及び預金が661百万円減少したことによるものであります。

【負債】

当第1四半期会計期間末における負債合計は95百万円となり、前事業年度末と比較して146百万円減少しました。これは主として、未払金が127百万円減少したことによるものであります。

【純資産】

当第1四半期会計期間末における純資産合計は732百万円となり、前事業年度末と比較して500百万円減少しました。これは、四半期純損失の計上により利益剰余金が500百万円減少したことによるものであります。

(単位：百万円)

決算年月	第14期 2024年3月期 第1四半期(実績)	第15期 2025年3月期 第1四半期(実績) a	第15期 2025年3月期通期 (予想) b	予算消化率 a/b
事業収益	0	0	0	-
事業費用	275	497	1,817	27%
研究開発費	206	417	1,530	27%
その他の販売費及び一般管理費	69	80	286	28%
営業損失(△)	275	497	1,817	27%
経常損失(△)	280	499	1,827	27%
当期純損失(△)	280	500	1,829	27%

業績予想につきましては、2024年5月15日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

【事業収益】

事業収益は、ライセンス契約締結に向けマイルストーン対価等を目指してまいります。

米国で臨床第3相試験を実施しているDFP-10917や、複数の抗がん剤候補化合物の臨床試験が進んでおり、新しいパートナーとの提携による契約一時金等の収益も期待されます。

【事業費用】

事業費用は、第1四半期では、開発パイプラインの臨床試験における医療機関並びに症例数の増加、次試験に向けた治験薬となる原薬や製剤の製造などを進めたことなどに伴い、497百万円(前年同四半期比80.6%増)となりましたが、現状、1,817百万円を見込んでおり、変更はありません。

調達資金の充当状況(2024年6月末)

(単位:百万円)

資金調達	調達額 (実績・予定)	資金使途	充当額	使用期間
第4回新株予約権 (全て行使済み)	988	DFP-14323の臨床第3相試験の研究開発費 DFP-17729の臨床第1相及び第2相試験の研究開発費 開発体制・管理体制の強化(人件費)及び特許関連費用等(経費)	988	2021年4月～2024年3月 2021年4月～2023年3月 2021年4月～2022年3月
第5回、第6回新株予約権 (全て行使済み)	1,310	DFP-10917の臨床第3相試験の研究開発費 DFP-14323の臨床第3相試験の研究開発費 開発体制・管理体制の強化(人件費)及び特許関連費用等(経費)	867	2022年12月～2024年3月 2023年4月～2025年9月 2022年12月～2024年3月
新株式 (払込済み) 第7回新株予約権 (全て行使済み)	1,443	DFP-17729の臨床第1相/第2相試験及び次試験の研究開発費 DFP-11207の臨床第2相試験の研究開発費 DFP-14927の臨床第1相試験及び次試験の研究開発費 DFP-10917の臨床第3相試験の研究開発費及び承認申請関連費用 開発体制・管理体制の強化(報酬・人件費)及び特許関連費用等(経費)	337	2023年11月～2025年3月期 2024年4月～2028年3月期 2023年11月～2025年3月期 2023年11月～2025年3月期 2023年11月～2025年3月期
合計	3,741		2,192	

(単位:百万円)

対象	調達額	内容	充当額	2024年6月末までの充当状況
DFP-10917	750	臨床第3相試験の研究開発費及び承認申請関連費用	750	実施中
DFP-11207	180	臨床第2相試験の研究開発費	0	実施中
DFP-14927	150	臨床第1相試験及び次試験の研究開発費	132	実施中
DFP-14323	1,191	臨床第3相試験の研究開発費	586	実施中
DFP-17729	1,000	臨床第1相/第2相試験及び次試験の研究開発費	358	実施中
人件費及び経費等	470	開発体制、管理体制の強化、特許関連費用等	366	実施中

開発品	開発段階	2025年3月期の予定	2025年3月期 第1四半期状況
DFP-10917 (点滴静注剤) 急性骨髄性白血病 (難治性・再発)	P-3 試験中 (米国)	長期生存患者のフォローアップ(追跡調査)を継続し、承認申請に向けた準備を継続	長期生存患者のフォローアップ(追跡調査)を継続し、承認申請に向けた準備を継続中
	P-1/2 開始予定 VEN併用 (米国)	米国の約5施設の医療機関で、DFP-10917とベネトクラクス(VEN)との併用によるP-1/2試験を開始	米国の約5施設の医療機関で、DFP-10917とベネトクラクス(VEN)との併用によるP-1/2試験を開始し、症例登録待ち
	P-1 試験中 (日本)	日本新薬によるP-1を継続	日本新薬によるP-1を継続
DFP-14323 (経口剤) 末期の肺がん	P-3 試験開始 (日本)	国内約30施設の医療機関でのP-3試験を推進	国内約30施設の医療機関でのP-3試験を進め、第1症例目が登録され、臨床試験継続中
DFP-17729 (経口剤) 末期の膵臓がん	P-1/2 試験中 (日本)	P-1/2の解析に時間を要しているものの、解析結果をまとめて次試験へ向けた準備と次試験開始を予定	P-1/2の解析結果がまとまり、欧州臨床腫瘍学会消化器癌分科会にポスター発表が行われた。次試験へ向け準備中
DFP-11207 (経口剤) 膵臓がん胃がんの手術後の 再発防止	P-2 試験準備中 (米国・日本)	今期は導出先の選定並びにライセンス契約獲得を前提とし、P-2実施候補国(米国・日本)の検討を継続 そのため、P-2試験開始予定を2026年4月に変更	P-2実施候補国(米国・日本)の検討を継続中
DFP-14927 (静注剤) 膵臓がん胃がん 骨髄異形成症候群	P-1 拡大試験開始 (米国)	P-1拡大試験開始	P-1拡大試験開始し、継続中
DFP-10825 (腹腔投与剤) 胃がん、卵巣がん、膵臓がん の腹膜播種転移	P-1 試験準備(未定)	P-1の実施候補国は米国もしくは日本で実施することの検討を継続	P-1の実施候補国は米国もしくは日本で実施することの検討を継続中

注 前回公表時からの進捗状況について記載しております。

- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 本資料は、当社に関する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来に対する見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の結果が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。